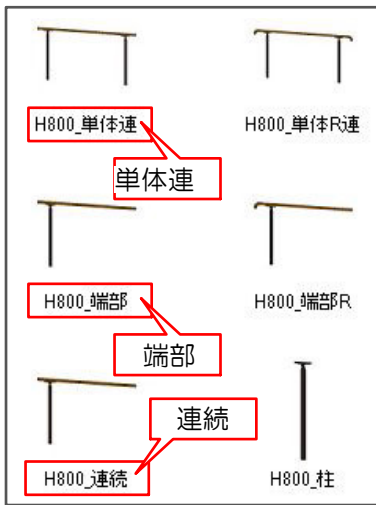


製品 手摺り（単体連）と（端部）（連続）の使い分け

製品 手摺りの（単体連）と（端部）（連続）の使い分けの説明です。



手摺には、登録名が[H800_単体連]と[H800_連続]があります。同じ様ですが、使用方法が異なります。それぞれの使用方法の説明です。

[H800_単体連]は、部材デザイナーで連続配置する距離を入力すると、その長さに合わせ柱を均等に配置します。

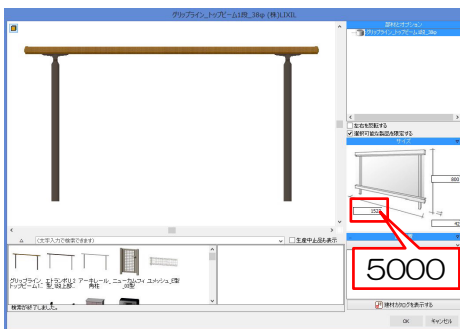
[H800_連続] [H800_端部]は、[H800_端部]や[柱]と共に使い、並べて配置していきます。

どちらもeE-Formerで加工し細かな部分を変更することが出来ます。

1 単体連 の使用方法

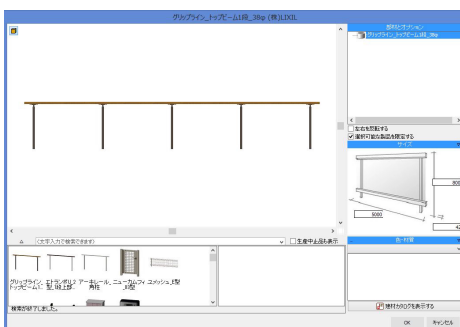


1 [単体連]の製品手摺りを図面上に配置し「ダブルクリックします」。



【部材デザイナー】の画面が表示されます。

2 手摺りを連続配置する距離を入力し「OK」をクリックします。ここでは例として5000に設定します。

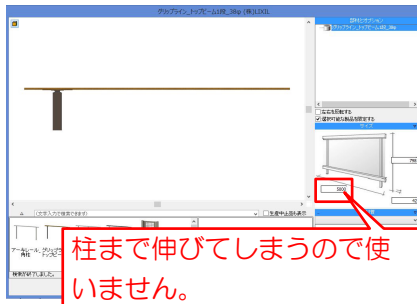


入力した距離内に均等に柱が追加されます。

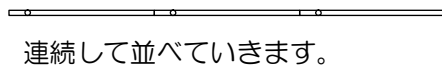
2 連続 の使用方法



1 「連続」 「端部」 の製品をそれぞれ配置して使います。



伸ばす場合：



詳細説明

詳しくは↓

「スロープに手摺をつける 塀ユニットから配置する、製品から配置する2つの方法」

短くする場合：



重ねて配置するか、
「補助線で切る」 「eE-Formerで切り欠き」

切る方法↓

「傾斜手摺り（てすり）とまっすぐな手摺のジョイントが交差してしまった 補助線で切る方法」

「傾斜手摺り（てすり）とまっすぐな手摺のジョイントが交差してしまった eE-Former（イーフォーマー）で切り欠きする方法」

で検索